

第3回旧市民センター跡地活用検討委員会報告書

【日時・場所】

令和4年1月26日 14:00～15:30 @綾部市役所本庁3階 委員会室

【出席者】

旧市民センター跡地活用検討委員会委員

市民代表 (五十音順)	有 道 栄 作	綾部商工会議所青年部 会長
	泉 朝 子	綾女ねっと会長
	木 崎 仁 巳	並松町自治会長
	林 多嘉子	男女共同参画審議会会長
	平 野 正 明	綾部地区自治会連合会長
	山 下 信 幸	綾部商工会議所 副会頭
市職員	山 崎 清 吾	副市長 <u>座長</u>
	吉 田 清 人	企画総務部長
	四 方 博	建設部長

【欠席者】

市民代表 (五十音順)	久 木 和 子	綾部市保育協議会長
	山 田 美奈子	綾部市PTA連絡協議会 副会長

【議事内容】

1. 基本コンセプトと整備方針について
2. 整備内容について

1. 基本コンセプトと整備方針について

基本コンセプトについては、第2回検討委員会にて承認をいただき変更なし。「平和」という綾部にとって重要なキーワードを整備方針として盛り込み、「平和を愛する心をはぐくみ未来へ伝える公園づくり」を新たに追加し承認をいただいた。

6番目の「バリアフリー化やユニバーサルデザインにより誰もが利用しやすい未来を見据えた公園づくり」という方針について、複数の委員から意見が出た。

・6番目は入れる必要がないのではないか。「バリアフリー化」や「ユニバーサルデザイン」、「未来を見据えた公園づくり」などは今後施設を整備していく上で当たり前のことであり、あえて謳う必要がない。前段の他の方針と意味的に重複している部分もある。

→意味的に似通っている部分もあり、またバリアフリー化、ユニバーサルデザインを取り入れた整備を行うことは今や当然であるので、もう一度検討を行い、整理させていただきたい。

2. 整備内容について

第3回検討委員会で整備内容について各委員からのご意見を踏まえ、事務局で案を作成。整備方針に対しての整備内容を示し、その具体例を挙げ、イメージ図をもとに意見交換を行った。

◆整備の具体例

【整備内容に対する意見交換】

・事務局の説明に、広場に芝生を整備する話があったが、芝刈りやエアレーションなど維持管理にかなりの費用を要する。景観的には大変よいが、後々のことを考えるとよろしくない。

・芝生に代わるウッドチップやコルクチップなど維持管理費も比較的にかからず、怪我も予防できる素材を使用してはどうか。

・芝生を敷いた場合、面積も広大であるため、ボランティアでは維持管理できない。

→芝生で整備した場合には、維持管理費が相当必要になるので、グラウンドとしての整備などいろいろ鑑みながら広場の整備を考えなければならない。

・ステージが低く、階段状の観客席が高くなるすり鉢状になった構造は良いと思う。イメージ図からすると、観客席はもっと狭くてもよい。逆に、広場部分をもっと広くする方が、人が多くなった時に利用しやすいのではないか。

→前回会議でスケートボードの話があったが、ステージ付近の階段状になったところや通路などを利用し、少し整備を工夫すればスケートボードを行うことも可能になる。

・コンクリートやアスファルトのきれいなものを整備しておき、スケートボードでも遊べ、観客席にもなるような形で使う方がおもしろい。校舎が近くにあるので、騒音への配慮が必要。校舎から遠いところに造って、由良川の井堰の水の音で相殺されるくらいになればいい。

・春・夏は木や避暑できる場所がないと水無月まつりなどは暑くて耐えられない。あまり大きくなならない木を選び、植栽などもある程度必要。

・植栽はいいが、多くなると落ち葉の問題も出てくるので、配慮が必要。現在植えてある大きな木は整備時に切るべき。

・幼稚園の人などから、運動会も行えればという意見が出ていた。グラウンドのような砂地とし、水はけもよく整備できれば、色んなことにも利用できるのではないか。子連れでの利用を想定すると日陰、トイレも必要。パラソルなども使い勝手がいいのではないか。

・公園と堤防、公園と近くの道路など周辺の状況や安全にも配慮した整備が必要。緑があるのはいいことだが、住宅側に落ち葉が落ちないように配慮すべき。

→落ち葉問題や将来的に倒木の恐れがある大木については、今後の管理も考慮し、整備時に切ることもあり得る。木陰をつくるとなると、大きな木が必要なため、東屋などを検討していきたい。ステージは綾高前の道の高さと同じぐらいのイメージで描いた。国交省から堤防まで盛り上げることも提案されており、その場合、ステージも上げないと高さが合わない。高さを上げる場合は安全対策が必要。トイレも民家に近くない方がよいかもしれない。設計する段階で考えることになる。芝生広場やウッドチップなど色々パターンを考えたい。メンテナンスの必要がないものがよいと思う。堤防まで盛り上げどこかに坂などを造って、その部分だけでも芝生を敷くと滑って遊ぶこともできる。部分的に芝生を敷くこともあるかもしれない。全面芝生広場が綾部市にはないので描いた。維持費が結構かかることを考えながらやっていきたい。

・市民のみんなが楽しめる広場にしたいというのが皆さんのご意見。事務局の案は、親子が広場の中で遊べたり、高齢者の方もパーゴラとか東屋の下で語らえたり、ステージがあって若者が遊べたり、階段の横でスケボーができたりと、いろいろな人が遊べるような公園になっているのではないか。遊具も子供だけでなく、高齢者が体力づくりや健康づくりでストレッチができ、さらに遊べる遊具があればさらによい。芝生は維持管理がかかるため、将来も持続可能な、市民センターが長く愛されたように、市民の皆様にも長く愛される公園になればいい。維持管理のことも大事だが、芝生の代わりにシロツメクサとかはどうか。

・この計画はまだ堤防に擦りついたり、盛り付けるかたちではなく、平面的に利用での素案であり、広い芝生広場にしたい計画になっているが、堤防に盛り付けると、スロープなどが必要になり、複数の園路が必要になる。一部分についてはチップ舗装とかで自然的に見える園路を整備し、芝生の部分を減らすなど、芝生の広場についても部分的に自然芝にして、あとの部分は違うもので検討してもよい。日陰はパーゴラで計画しているが、藤棚的なものにする、一転植栽的なものになる。東屋的なところを各所に造って休憩して頂くことも検討できる。

・駐車場にも配慮が必要。市街地の人だけでなく、遠方から車で来られる方にも利用いただける広い駐車場の確保が必要。交通公園を利用し、駐車場を整備するのもよいのではないか。並松地区の道路のかさ上げも行われるので、堤防との擦りつけなど周辺の関係も含めた整備を行うべき。堤防のところを少し広くすれば、水無月まつりで万燈流しと花火がセットで見られる。万燈流しと花火のセットが綾部らしい夏の風物詩。維持管理が大変になるような整備をせず、自由な形で入れて、きれいな公園ということで考えていかないといけない。

・避難場所としての利用を想定した場合、公園が堤防と同じ高さになれば、台風の時などは強風が吹きつけることになり、風よけになる施設がないとテントも建てられないので考慮が必要。
→避難場所としての利用も意識しながら、提言書の中に入れていきたい。

・第一グラウンドや交通公園の活用も提言書に含めてほしい。

【まとめ】

・整備方針について、意味的に似通っている部分もあり、またバリアフリー化、ユニバーサルデザインを取り入れた整備を行うことは今や当然であるので、もう一度再考し整理する。

・次回に向け、今回意見交換いただいた内容を踏まえ提言書を取りまとめ、案を比較できるよう図面等で2～3案作成し、イメージを提示する。

・検討委員会ではイメージ図を提示し、委員に議論いただき承認を得るが、実施設計に影響がある可能性もあるため、提言書にイメージ図は盛り込まない。

・公園の整備費用とランニングコストの概算を提示する。

・提言書の事前配布を行い、第4回検討委員会で議論いただき、提言書を取りまとめる。